☆★☆BOOKSレビュー☆★☆

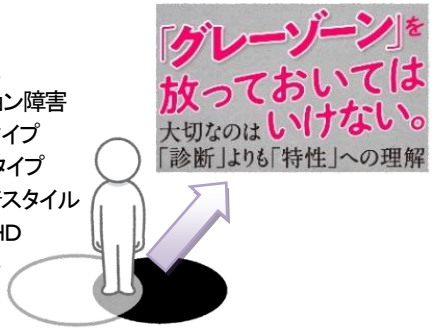
『発達障害「グレーゾーン」その正しい理解と克服法』
著者 ： 岡田 尊司（精神科医、作家、医学博士）
発行 ： SB クリエイティブ新書　　価格 ： 990 円

発達障害について広く認知されるようになり、自分も発達障害かもしれないと医療機関を訪れる人も増えてきた。そんななか多くなっているのが、徴候はあるものの診断には至らない「グレーゾーン」。診断には至らないとはいえ、じつはグレーゾーンのほうが生き辛いという研究もあり、最近注目されている。

本書は、こだわり症、疑似ADHD、社会的コミュニケーション障害、不安型愛着スタイルなど、タイプ別に発達障害未満の生きづらさの傾向とその対策について解説する。（出版社内容情報より）

「グレーゾーン」の8つのタイプとは？

① 同じ行動を繰り返す人たち—こだわり症・執着症
② 空気が読めない人たち—社会的コミュニケーション障害
③ イメージできない人たち—ASDタイプと文系脳タイプ
④ 共感するのが苦手な人たち—理系脳タイプとSタイプ
⑤ ひといちばい過敏な人たち—HSPと不安型愛着スタイル
⑥ 生活が混乱しやすい人たち—ADHDと疑似ADHD
⑦ 動きがぎこちない人たち—発達性協調運動障害
⑧ 勉強が苦手な人たち—学習障害と境界知能



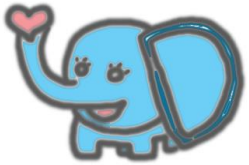
次男が大学生になり一人暮らしを始めてから、自炊をするようになりました。元々器用なので、料理動画を見ながら様々なメニューを作っています。

それに対して、「兄として、弟に負けるわけにはいかない」と、変な闘志を燃やし始めた発達障がいの長男。リンゴの皮も剥いたことがないのに、いきなりハンバーグに挑戦。「手伝おうか？」と言っても、「弟は動画を見て作ったから」と頑なに拒否。2時間かけて3個のハンバーグを作り、祖父母や知人に写真をラインして誉められ、ご満悦でした。

しかし、調理後のキッチンの惨状は凄まじく、元通りにするのに私一人で1時間以上かかりました。片付けまでが料理だと言い聞かせてから、挑戦させるべきでした。（亜）

ダンボクラブでは、発達障がいについて広く理解していただくための啓発活動を行っています。
ご賛同いただける方の温かいご支援を募集しています。
ボランティア活動にご興味のある方、ご寄付いただけます方は、下記までご連絡下さい。

お問い合わせ：damboclub@hotmail.co.jp
お振込口座：伊予銀行　小栗支店　　普通 1321818
　　ゆうちょ　記号 16170　　番号 25583311
ダンボクラブHP → https://www.dunboclub.com/



ダンボ通信

☆157号☆
発行日：2022年7月

****ダンボクラブについて****
高機能自閉症、アスペルガー症候群という言葉を知っていますか？
私たちは、そんな子どもたちを育てています。
この広報は、ダンボクラブがどんな活動をしているのか
知っていただくために作りました。

☆★☆活動報告☆★☆

★保護者会＆アドバンス　6/25(土)★
久しぶりに対面での座談会を実施しました。
近況報告をしたり、それぞれの現在の悩みや課題などについて話したりすることができて、大変貴重な時間を過ごすことができました。やはり、実際に会って話ができることは、とてもありがたいと感じました。

★勉強会　6/13(月)★
臨床発達心理士、特別支援教育士で教諭の新開多恵先生との勉強会がありました。

★成人当事者会「ワンピース」　6/19(日)★
今年度初めて、対面開催ができました。
午前：茶話会
午後：SST 対話型鑑賞【絵画の共同鑑賞】
　→県立美術館の方が講師をしてくださいました。